

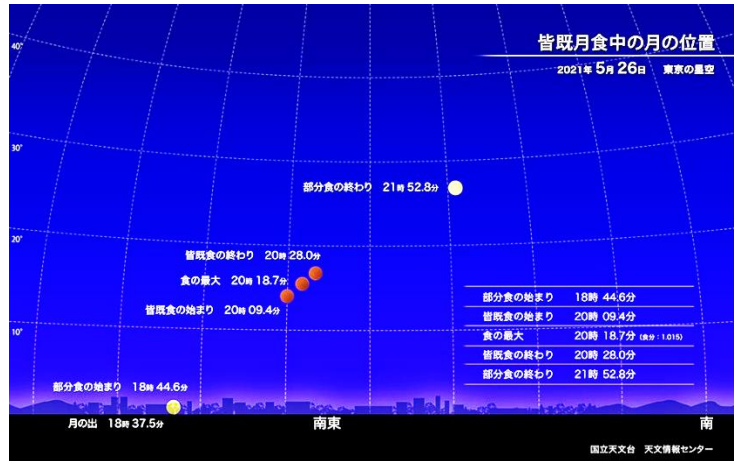
5/26(水)の「皆既月食」を観測しよう!

～ 午後8時18分 が見ごろです。～

5月26日(水)の夕方から午後9時にかけて、「月食」があります。今回は3年ぶりに、日本の多くの地域で皆既月食が観測できそうです。

予想では、午後6時44分頃から月が欠け始めて、月が全部隠れた状態の皆既食の状態に入るのが午後8時9分頃、皆既食が終わるのが午後8時28分頃、そして午後9時53分には部分食も終わります。

皆既の最大となるのが午後8時18分頃で、赤銅色(しゃくどういろ)の月は20分ほど観測できます。月の出とともに始まりますので、東の低い空を見上げてください。



●この日の「皆既月食」のシミュレーション動画 ①

- ①国立天文台 HP「2021 5月26日 皆既月食」
<https://youtu.be/H3nxv1qN8hl>



部分食始	午後6時44分
皆既食始	午後8時9分
食の最大	午後8時18分
皆既食終	午後8時28分
部分食終	午後9時52分

「月食」とは?

月と地球は、太陽の光を受けて宇宙空間で光っていますが、太陽側の半面だけが明るく、反対側は光が当たらずに影になっています。月食という天文現象は、月が公転をしている時に、ちょうど地球を挟んで、太陽の反対側に来た時に月地球太陽が、ほぼ一直線に並んで、月が地球の影に入ってしまう、月に太陽の光が当たらなくなってしまふ現象です。このうち完全に月に光が当たらないものを皆既月食と呼んでいます。したがって、満月の日にしか起こらず、しかも立体的に一直線になることはなかなかないので、珍しい現象です。

●詳しい説明は下のホームページを開いてみよう!

- ②国立天文台 HP「月食とは」
<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/lunar-eclipse.html>
- ③国立天文台 HP「月食のおこるしくみ」動画
<https://youtu.be/qa8l-Ri47Hs>



●しかも、この日の満月は「スーパームーン」!!

1年間に満月は12回ありますが、月の「見かけの大きさ」は違い、この日の満月は、今年一番大きく見えるスーパームーンです。最も小さく見えるときと比べると、13%も大きく見え、30%も明るいそうです。

問 なぜ? 満月の大きさは変わるの? 考えて見よう! 解答は下のHPを開いてみよう

【関連HP】

- ④「星空情報 皆既月食 2021 5月」 国立天文台 HP
<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2021/05-topics03.html>
- ⑤「月食が起こるのは?」 NHK for School
https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301274_00000

【関連授業】

《3年理科 単元4 地球と宇宙 第三章 宇宙の広がり》

